

令和5年度 指定管理業務 事業評価表

1. 評価対象施設

公の施設の名称	四国中央市太陽の家		
施設所管課	福祉部	発達支援課	
指定管理者名	社会福祉法人 今人倶楽部		
指定期間	R5年	4月	1日 ~ R7年 3月 31日
	1年目		

2. 評価表

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し計画的に研修等を実施している。	B	B
	法令順守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じている。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	B
《①の総括》		B	B	
指定管理者の自己評価	人員体制が確保でき、研修も計画的に実施した。法令遵守や個人情報保護の取り組みなどは最新の情報を確認し周知すると共に、事故防止に取り組んでいる。各種記録を整備し、市との連絡調整も適宜細かく行っている。警報が発令された時や地震の時など即座に施設に確認し、また現地に行き状況確認を行うと共に市と情報共有を行った。			
施設所管課の評価	基本協定、事業計画に基づき、適切に管理・運営が行われている。また、緊急対応に関しても、市と連携しながら適切に対応している。特に感染症対応について、入所者の安心・安全な生活を確保できるよう努めている。			

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
②サービスの質の評価	施設管理	事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用者の人権を尊重するための周知や啓発を行っている。	A	A
		利用者への説明や同意（自己決定）が適切に行われている。	B	B
		生活環境の改善など、利用者の満足度の向上に努めている。	A	A
		安全・安心を確保するため組織的な取組みが行われている。	A	A
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	A
	地域交流	共生社会の実現を視野に、地域との連携や交流を行っている。	A	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	苦情対応等	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B	B
	指標の達成状況	利用者に対する生活介護サービスの年間提供割合を満たしている。	B	B
		利用者の地域移行等の数を達成している。	A	A
《②の総括》		B	B	
指定管理者の自己評価	利用者の方の生活を第一に考え人権を尊重し、居室面積の拡大や寮の再編成により環境改善に取り組んだ。日中活動の選択肢の増加や自動販売機の活用により一人一人が自分で楽しみながら選択し、決定する機会を増やすように取り組んだ。地域に発信した研修等も定期的に行い交流を図っている。法人としてグループホームの開設や地域の高齢者施設等への地域移行を促進した。			
施設所管課の評価	入所者一人一人の生活を大切に、基本的人権を尊重するために、地域移行の推進や生活環境の改善に努めている。また、安心・安全な生活が送れるよう管理運営が行えている。			

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	《③の総括》		B	B
	指定管理者の 自己評価	預り金の取り扱いをやめ、立替払いに変更するなど安全な仕組みとしての管理を行っている。厨房の直営化により総予算に対する経費縮減も行うことができ、予算の執行に至った。		
	施設所管課の 評価	物価の高騰などにより経費がかさむ中、運営方法の変更などにより適正に予算執行が行えている。また、経理事務の変更などにより適切な金銭管理に勤めている。		
総合評価	①②③を合わせた総合評価	B	B	
所見 (成果・課題等)	<p>利用者の方のより良い生活に向けて取り組んできた。激変緩和も念頭に置きながら取り組んできたが、職員への説明の不足や具体策の提示ができていなかったことで年度当初は課題も多かったが、地域移行や寮の編成といった環境改善と共に良い方向に進んでいることを実感している。短期入所や生活介護の地域からの受け入れが今後の課題である。</p> <p>指定管理初年度という難しい状況の中、利用者一人一人を大切に、安心して生活できるよう運営を行っている。特に施設更新計画にある入所者の地域移行については、計画以上のペースで達成している。今後は地域からの受け入れを行いながら、共生社会の実現に向け貢献していただきたい。</p>			

各項目の評価基準

区分	項目評価	基準
評価基準	A (優良)	事業計画を上回っている 期待する水準を上回っている 達成度イメージ : 110%以上
	B (良好)	ほぼ事業計画どおりである ほぼ期待する水準どおりである 達成度イメージ : 90%以上~110%未満
	C (一部良好でない)	一部を除き、事業計画どおりである 一部を除き、期待する水準どおりである 達成度イメージ : 70%以上~90%未満
	D (良好でない)	事業計画を大幅に下回っている 期待する水準に達していない 達成度イメージ : 70%未満
総括	A (優良)	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B (良好)	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C (一部良好でない)	評価基準がすべてC以上である
	D (良好でない)	評価基準にDが含まれている
総合評価	A (優良)	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B (良好)	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C (一部良好でない)	評価基準がすべてC以上である
	D (良好でない)	評価基準にDが含まれている